

## 令和6年春の外国人叙勲授与式典

8月17日、令和6年春の外国人叙勲で旭日小綬章を受章した、阪本・プラド・パブロ・アントニオ・克盛チリ中央日本人会会長への勲記・勲章伝達式が大使公邸で行われました。

日系2世である阪本氏は、これまで、サンティアゴ首都圏において、同首都圏のみならずチリ全体を代表する日系団体の会長等の要職に就任しており、チリ全体の日系社会の活性化、日本文化の普及、チリ社会との融和に向けて熱心に取り組む、日チリ関係の友好促進に大きく貢献しました。

式典では、伊藤大使が阪本氏の功績を称える祝辞を述べた後、勲記及び勲章を授与しました。阪本氏が答礼のスピーチにおいて、長年に亘る日・チリの友好関係は、日本人の真面目さや勤勉さという価値観をベースに出来上がったものであり、この価値観は、初めて南米に移住して来た日系1世が当地に根付かせたものであり、我々日系人社会に今も深く根付いていると述べ、叙勲の喜びを伝えました。

外国人叙勲は、日本との友好関係や相互理解増進等について顕著な功労のあった外国人に対して実施されるもので、令和6年春の外国人叙勲受章者は計101名（うちチリでは阪本チリ中央日本人会会長1名）でした。



勲章伝達



伊藤大使の祝辞



パブロ・阪本氏謝辞



勲記伝達



御子息挨拶



日本酒による乾杯



式典全景